

泰日協会学校（バンコク日本人学校）学校だより
Thai Japanese Association School



令和6年
第4号

〈メールアドレス〉
<https://www.tjas.ac.th>
〈電話番号〉
02-314-4151

チャーム臨海学校

文責 中村一曜賜

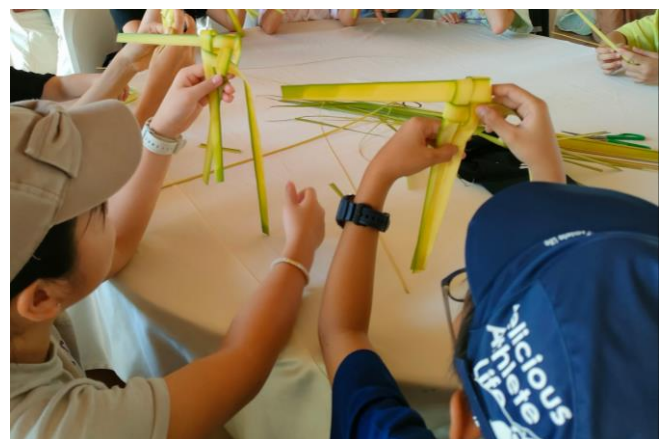
6月12日（水）から14日（金）の2泊3日で、チャーム臨海学校に行ってきました。5年生では、臨海学校のめあてを「どんどんちよう戦し、やるときはやる。あん全を心がけ、活動にはむ中になって楽しもう。合言葉はチャーム」として、準備を進めました。実行委員会や、各系の活動などに意欲的に取り組む子供たちの姿からは、めあてにもある、「挑戦」する姿勢が感じ取れました。

1日目はオリエンテーションやクラスレクを行いました。オリエンテーションでは、開始と同時に大雨に襲われましたが、その後天候も回復し、無事活動を終えることができました。クラスレクでも、それぞれのクラスが力を合わせ、楽しい時間を作り上げていました。

2日目は、午前中に砂浜で砂の芸術祭を、午後にはそれぞれお気に入りの場所で絵手紙を描き、その後展覧会を行いました。夜にはキャンプファイヤーで、大いに盛り上がりました。火の女神や風の魔神が登場したセレモニーをはじめ、みんなでダンスしたり、ゲームをしたりして楽しんだ時間は、子供たちにとっても思い出深いものとなったようです。

3日目はプラータピアン作りです。ホテルのスタッフに作り方を教えてもらいながら、作業を進めていました。プラータピアンはタイのお守りだそうです。お土産に持ち帰っている子もいますので、ぜひご覧いただければと思います。

3日間の集団宿泊の行事で、子供たちは本当の楽しさとは何かや、友達を思いやることの大切さなど、様々なことを学んだはずです。そのことを生かし、これから先の様々な活動にも挑戦して行ってほしいと思います。



修学旅行

文責：6年部主任 横山遼祐

「北方のバラ」と称され、タイ第2の都市で美しい古都が現存する「チェンマイ」。この風情あるチェンマイで、令和6年度バンコク日本人学校修学旅行を6月26日（水）・27日（木）・28日（金）に実施しました。今年の修学旅行のスローガンは「First step ～みんなで踏み出す最高学年～」でした。このスローガンには、6年生となって全員で迎える最初の行事を成功させて、これからの成長の糧にしようという子供たちの願いが込められています。このスローガンを掲げて、現地での学習や班活動に励む子供たちの姿が見られました。



【バスの車内で一枚】

1日目はランナー文化体験。現地の方を講師に迎えて、ランタンとお守り作りを行いました。どちらも細かな作業が必要だったため、苦戦する子供たちが多かったのですが、講師の方に質問したり、友達同士で助け合ったりしながら熱心に活動していました。懸命な頑張りがあったのですが、完成までには辿り着かず、作品が中途半端のまま終わってしまう子供たちもいました。作品を作り終えることができず落ち込んでいた2日目の夜、ランナー文化を継承するスタッフの方々からお守りの完成品が全員分届きました。きれいにラッピングされたお守りを手に取った子供たちは自然と笑顔になっていました。その様子を見た職員も安堵の気持ちに包まれました。



【職人の技を実感した子供たち。熱心に作る姿が見られました。】

2日目はワット・プラタート・ドイ・ステープへ。このお寺はチェンマイを代表する観光スポットで、山頂にそびえ立つ黄金の仏塔の輝きは息を呑むほど美しいです。ただ、山頂の仏塔を見学するためには、350段の階段を上がらなければなりません。子供たちはバスガイドさんや担任の先生と一緒に山頂を目指して階段を上がりました。途中、休憩した際も友達同士で「もう少しだ。」「がんばろう。」と声を掛け合う姿も見られて、活動を通して友情を育てていました。仏塔を前にバスガイドさんによる解説や歴史的資料からたくさんのお話を学ぶことができました。本校のタイ語の授業で紹介されたワット・プラタート・ドイ・ステープ。学校での学びが現実での学びにつながる時間にもなりました。



【仏塔前での一枚】

3日目は、チェンマイのワット・メーゲットノイ校との交流学習会を実施しました。ワット・メーゲットノイ校の子供たちが温かく歓迎してくれて、緊張していた子供たちの表情も次第に和らいでいきました。交流学習会の目的は、両国の伝統的な遊びを通してお互いの親睦を深めることでした。ワット・メーゲットノイ校の子供たちからはバンブーダンスや伝統的な踊りをレクチャーしていただきました。日本人学校からは子供たちが主体となって、自己紹介をしたり、各クラスで

選んだ折り紙遊び（「トントン相撲」「紙風船」「手裏剣」）を紹介したりして、親睦を深めました。30年間続いてきたメーゲットノーイ校との交流学習会も今年度で最後になりました。交流学習会の時間は短かったのですが、本校の子供たちの斬新なアイデアや「現地の子供たちを楽しませて幸せを広げたい。」という熱い思いで溢れた温かい時間になりました。最後に全員で歌った「思いやりの花」は圧巻で、会場にいた全員が笑顔になり、30年続いた交流の歴史に幕を閉じるにふさわしい最後になりました。



【メーゲットノーイ校の子供たちと親睦を深めました】

この3日間のために、約1か月間準備を進めてきた子供たちです。修学旅行の3日間はもちろんですが、それまでの学習や活動も子供たちにとっては素晴らしい経験になったことでしょう。ただ、6年生にとって修学旅行はあくまでも卒業までの通過点です。この経験を学びに変え、「Be A Leader.」という学年目標・「卒業」というゴールに向かって全員で歩いていってほしいです。そして職員一同、これからも夢に向かって頑張る子供たちを応援していきます。



【ナイトサファリでの一枚】

最後になりましたが、修学旅行の実施にあたり、保護者の皆様のご協力やスタッフの方々のサポート等、たくさんの方々のおかげで無事に実施することができました。関わってくださった方々にこの場をお借りして感謝申し上げます。たくさんのご協力ありがとうございました。

【令和6年度修学旅行 in チェンマイ行程】

1日目	2日目	3日目
○スワンナプーム国際空港 ○チェンマイ国際空港 ○ウィズダムスクール ★ランナー文化体験 ○ナイトマーケット	○ワット・プラタート・ドイ・ステーブ ○サイアム・セラドン ★セラドン焼き絵付け体験 ○学年レクリエーション ○ナイトサファリ	○ワット・メーゲットノーイ校との交流学習会 ○チェンマイ国際空港 ○スワンナプーム国際空港



にぎやかなバスでの移動



セラドン焼き絵付け体験



笑顔いっぱい

本校の外国語（英語）教育について

文責：第二教頭 庭田順子

バンコク日本人学校では、教育ビジョンに「グローバル人材の育成～世界に貢献できる子供の育成～」を掲げ、その目標を具現化するための手立ての一つとして、「国際性豊かな子」を育てるための「外国語教育の充実」や「イマージョン教育の推進」を図っています。

今回は、「外国語教育の充実」の中でも英語教育についてご紹介いたします。

バンコク日本人学校では、特別な教育課程として、NET(Native English Teacher)英語を行っています。

小学部1・2年生は週1時間、小学部3～6年生と中学部は週2時間です。

小学部4年生まではクラス全員での授業ですが、小学部5・6年生は2クラスを3つに、中学部は2クラスを4つに習熟度別に分けて学習します。

授業中は英語のみの使用となります。日本語を介することなく聞き取り、活動を行うことで、英語を英語で理解する力を身に付けることができるよう工夫しています。例えば、3年生の授業では、「形」や「色」の学習にすごろくを使い、実際にサイコロをふりながら説明を行い、子供たちが飽きずに何度も色や形を発話できるよう、活動を設定しています。

「イマージョン教育」においては、小学部で実施しています。7月に、小学部1・2年生は音楽で、小学部3・4年生は体育で、小学部5・6年生は理科で学習を行いました。

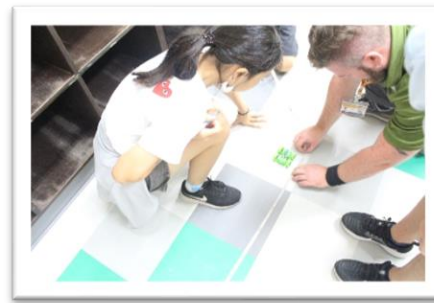
小6の理科では、“friction”（摩擦）について、“smooth”（なめらか）“rough”（ざらざら）などの単語を理解し、実際に木や布、紙やすりの斜面にミニカーを走らせ、英語での解説の中、実験を進めていました。

第3学年

色と形、いっぱい
言えたよ！



6年生



Which track has the most friction? (どのトラックが一番摩擦が大きい?)

バンコクで暮らしている本校の児童生徒は、常に外国語が身近にあり、英語を使用することに対して抵抗が少ないように感じます。また、学んだことをすぐに実生活に生かすこともできます。ぜひ、この環境を生かし、相手にあわせて聞いたり話したりできるコミュニケーション能力を身に付け、積極的に活用するよう、学校でも推進していきたいと考えています。